

復興支援 活動報告書

被災支援ボランティア団体
「おたがいさまプロジェクト」 大竹 修

復興支援ボランティア・ツアーVol.07 「神戸から倉敷へ」が終了しましたので、
下記の通りご報告致します。

記

【活動日時】

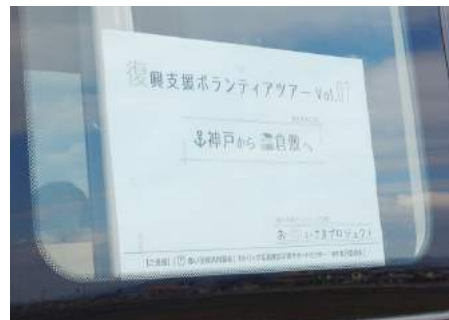
2019年2月23日（土） 7時～19時

【活動場所】

岡山県倉敷市真備町

【ボランティア参加者数】

19名（男性8名、女性11名/初参加7人、学生10人、当日欠席1名）



【その他】

本ツアーは赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート基金」の助成事業です。

また下記の皆さまのご支援でなっております。

大吉財団、神戸学院大学 任意団体「ママパパお助け隊」、4Mコンサート、個人様のご寄付

【活動内容】

- 1.学習支援
- 2.こども支援
- 3.見守り活動および、足湯&お茶会などのサロン活動
- 4.写真洗浄
- 5.真備総仮設・市場仮設住宅にて打ち合わせ

【詳細／情報共有】

1.学習支援

場所	箭田コミュニティセンター（サンサポート オカヤマ様所有スペース）
作業時間	1.5時間（13時30分～15時）
ボランティア数	1名
受益対象者数	4名（小学6年生1名、中学1年生2名、保護者1名）
支援・協力団体	サンサポートオカヤマ様（場所提供）、つむぎママ様（告知支援）

作業内容	学習支援
詳細・情報共有等	サンサポートオカヤマ様の場所提供により実現。 塾講師経験者を迎え、無料の学習指導（宿題、勉強方法、進路相談）を行なった。 保護者の方にも、勉強の指導方法などを説明を行なった。 <活動の成果> 1.適切な指導により進学への明確な勉強方法やヴィジョンを持つことを促せた。 2.親身に説明することで、将来の不安を取り除き、前向きに考える力を養えた。 3.保護者の方に対しても、今の勉強方法などを説明し、子供と一緒に勉強に向き合える方法を伝えることが出来た。   チラシ 学生の為に集中して勉強に励んでもらえる貴重な時間を提供出来た。 参加者からの評判もよく、サンサポート様より今後も空いていれば、スペース利用の了承を頂けたので、学習指導はもとより、進路相談や悩みなどを聞けるサロンの役割も含めて事業を行っていく。  (岡本様とスペース前にて) 楽しく勉強もできたし、いろいろ話が聞けて良かったです！ 中学校の話も聞けたし、みんな園で楽しかったです！ との事でした！ 参加者からの感想

2.こども支援

場所	①岡田仮設住宅 ②市場仮設住宅
作業時間	5時間 ①10時～12時 ②13時～15時
ボランティア数	①9名 ②9名
受益対象者数	①20名 ②7名
支援・協力団体	神戸学院大学「ママパパお助け隊」（物資提供）一般財団法人 大吉財団（物資提供）
作業内容	ゲーム大会（ビンゴ）、レクリエーション等

詳細・情報共有等

前回の参加者数（3名）が少なかったことを踏まえ、①景品付きのゲーム②チラシのデザイン変更を行なった事で、参加者が10倍増えた。
特にチラシに関しては、SNS上での拡散も多々あり、今後広報活動も注力していく。



前回までのチラシ



今回のチラシ

ボランティアも率先して子供たちとふれあい、全員が笑顔の絶えない時間となった。景品も子供達の満足のいくもので、声をあげて喜んでた。



（クマのプレゼントとずっと離さずに持っていた女の子）

岡田では、仮設以外からもたくさんの子供が参加してくれたことで、とても賑やかになった。地域コミュニティを広げていくためにも、今後も活動が続けたい。

市場での活動は5回を迎え、「待っていたよ!」と笑顔で来てくれたことが何より嬉しかった。このまま良好な関係でイベントを行い、地域コミュニティを形成するためにも引き続き活動を行う。

<活動の成果>

1. 日々のストレスを発散。不安や悲しみを取り除き、生きる強さに昇華するサポートを行なうことができた。
2. 地域住民と触れ合うことで社会性の能力を伸ばすことが出来た。
3. 他人を思いやれる暖かい心を育てた。



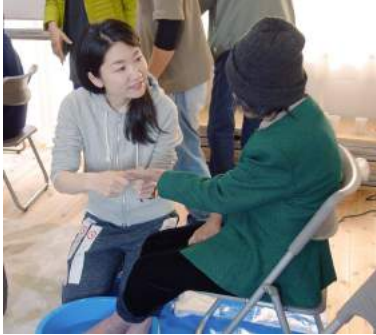
（岡田仮設）



（市場仮設）

4.見守り活動および、足湯&お茶会などのサロン活動

場所	①岡田仮設住宅 ②市場仮設住宅
作業時間	5時間 ①10時～12時 ②13時～15時
ボランティア数	①9名 ②9名
受益対象者数	①20名 ②10名
作業内容	訪問活動、足湯、お茶会などのサロン活動
詳細・情報共有等	【訪問活動】 仮設住宅にお伺いし、団体の紹介やお茶会のお誘い、困りごとはないかなどの聞き込みを行った。 【足湯・傾聴活動】 岡田では初めての活動だったが、チラシの効果、同場所でこどもイベントもあり、ご年配の方も積極的に参加してくれた。 市場では5回目となり、住民の方たちの信頼関係が築けつつある。その一方で、住民同士で初めて会話をしたという方もおり、良好なコミュニティ形成の場として、今後も活動したい。 ボランティアが誠意を持って傾聴してくれたおかげで、とても和やかなお茶会になり、住民同士のコミュニケーションも良好となった。 子供達と大人が一緒にいて笑いあえる空間は地域コミュニティとしては理想なので、今後も積極的に行いたい。   (岡田仮設) (市場仮設) -傾聴内容抜粋- 「頂いた物資は大事に使っている。被災直後は血圧が高くなっていたが、みなさんのおかげで症状が軽くなった」 「息子さんと二人暮らし、ふだんは家で寝てるだけでみんなで集まって話す機会もない。」（そのあと、仕事のお話など楽しそうに話して頂けた） ※残りは添付資料を参照 -情報共有- (市場) 訪問時に、季節柄か体調不良で、精神的にも辛そうな方が2人ほどいらっしゃった。 エアコンが各家庭1機しかないので、部屋によっては寒い。

	(岡田) トイレに便座カバーがなく、貼るタイプのシートでもあれば寒さを凌げるのでは→物資支援をされている石橋様にご連絡をし、購入について現地と相談するよう依頼をした。(2月28日) <活動の成果> - 被災者同士の良好なコミュニティ形成のサポートが出来た。 - リラックスしてもらいながら、談話を楽しんでもらい、被災者の悲しみや怒りに寄り添うことが出来た。 - 子ども達が参加するイベントを同時に行いコミュニケーションが出来る場所を提供出来た。  (岡田仮設)  (市場仮設)
--	---

4.写真洗浄

場所	倉敷市真備町災害ボランティアセンター内
作業時間	約4.5時間(9時30分～15時)
ボランティア数	18名
受益対象者数	約20名
作業内容	写真洗浄
支援・協力団体	「あらいぐま岡山」福井様(作業指示)、NPO旅商人永井様(日程調整)
詳細・情報共有等	旅商人 永井様にご紹介。あらいぐま岡山の福井様よりご調整頂き、写真洗浄を行った。 泥で汚れた写真を1枚ずつ丁寧に汚れを落とす作業を行う。 汚れた写真はバクテリアが周りから侵食していき、白くなって、放置しておくと見れなくなってくる。その侵攻をとめるために水・エタノール水溶液で洗浄しなくてはならない。 簡単な作業ではあるが、被災者の心に寄り添える大切な活動で、初心者には向いていると言える。 今後、神戸市内でボランティア活動ができる様に、遠隔作業として神戸市内で写真洗浄をするため福井様と連絡をとりあう事になった。

<活動の効果>

- 1.バスを利用して大人数での効率の良い活動が出来た。
- 2.活動中や休憩時間などに、ボランティア経験者と未経験者との交流を通して、防災やボランティアの意義を感じてもらった。



(あらいぐま岡山 代表 福井様と)



4. その他（打ち合わせ）

場所	①真備総仮設住宅 ②市場仮設住宅
ボランティア数	1名
作業時間	30分程度
作業内容	次回（3月30日）の打ち合わせ
情報共有等	①世話役のタカミ様と次回打ち合わせとチラシを提出した。（全世帯に配らないといけないので、足りない分は後日郵送する） 活動内容（こども支援（おかし作り）、サロン活動（足湯・お茶会）） ②世話人の渡辺様と3月30日の打ち合わせを行なった。 内容は①と同じ 30日のチラシ

【所感】

平成30年7月豪雨から7ヶ月たち、復興支援も後期に入っています。
作業も泥のかき出しや瓦礫撤去などから、写真洗浄と慰問ボランティアに移行しつつあります。

そしてこの後期にどれだけ「心のケア」を行えるかで、子供達のPTSD、ご年配の孤独死を防ぐことが出来ます。

私達の団体は特にこども支援、良好なコミュニティ形成を重視して活動しております。

子どもたちが笑顔で過ごせない世界に価値はありません。

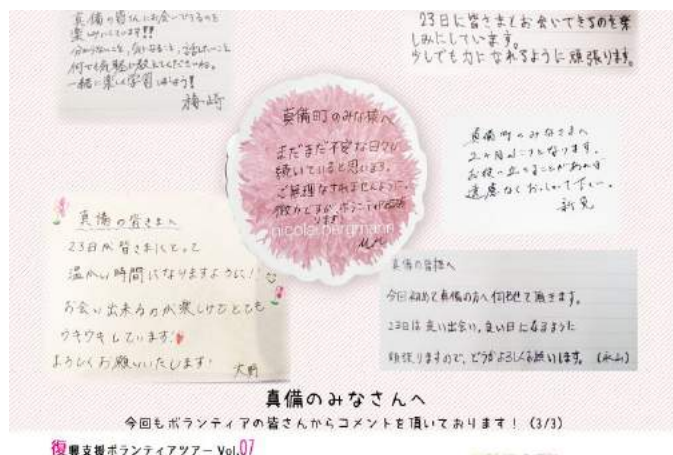
その為にも、健全で思いやりのある地域にするために、活動を続けてまいります。

大人、子供が同じ場所で笑いあう世界。
それを通じて、子供は人を思いやれる大人に成長する。



愛情を与えた子どもたちは必ず、世界を暖かく照らしてくれる存在になってくれます。

私達は倉敷から遠く、活動にも限界がありますが、それでもTwitterやLINEなどで、団体の広報活動をしてくれたりと、たくさんの支援団体や被災者の方と信頼関係が築き上げております。
これからも被災地に寄り添う気持ちを忘れず、活動していきたいと思ひます。



そして、今回も約半数がボランティア未経験、学生参加という理想的な形になり、復興の一助になったと共に、まだ復興が終わっていない現状や、ボランティア・防災の意義を感じてもらえる、十分実りのある活動となりました。

(ボランティアの人が真備に向けて書いてくれたメッセージ)

最後にこのような機会を頂けた、中央共同募金会様。4Mコンサート実行委員会様、神戸学院大学 ままばお助け隊様、大吉財団様、倉敷市役所 小川原様、西原様、そしてご寄付頂いた皆さまに心より感謝をお伝えしたいと思います。

本当に有難うございました。
おたがいさまプロジェクト代表 大竹

【今後の活動について】

3月30日

真備総・市場仮設住宅にてこども支援&足湯活動



【傾聴アンケート 9件】

性別：女性	何歳（年代）： 88	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 息子さんと二人暮らし。ふだんは家で寝るだけで、みんな集まって話す機会もいい。はまや育ちとちがって道が夕いで、迷いそう。散歩にも行ける。10代からやっていた薬の調剤の仕事、昔やっていた川あそびのことなど楽しそうにお話されている。		

性別：女性男性	何歳（年代）： 50～60代の方たち	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 ビンゴがあると聞いて（午後別の仮設住宅にて）、「また今度ビンゴもしてお話していた。景品は日用品が良いとのこと。」		

性別：男	何歳（年代）： 60～70代	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 今は倉敷のアパートで仮暮らし中。お孫さんは車で20分くらいの所に住んでいる。毎日休めてホッとする時間がいい。岡田に帰れるように住子まで心が落ちつかないかたよ。とのこと。岡田の仮設に子どもがこまめに集まるのは良いことだ。ふだんは6人くらい。		
感想・備考 イベントはボランティアイベントがあっても後で気付くが今回は息子さんがネットで見つけて教えてくれたとのこと。		

性別：男・生	何歳（年代）： 70歳くらい	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 東日本大震災の時も写真洗浄があり、その時もものすごい数の写真があった。スキャナーを使って少しも元の状態に近い形にあるとあつた。思い出というものは、記憶もいってほとんど薄くなっていった。あつた写真を見ても「こんなこともあった」と笑いながら話がある。それは素敵ですね。という話をしていただきました。		

性別：女性	何歳（年代）： 50～60代	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 身につけている物は頂いた物で買ったものは大事に使っている。総社市から物資を頂いた。ご自身の着物や時計も水につかたが見つかったとのこと。被災前は安定していた血圧が被災後に高くなったが、みかん（ポン酢）のおかげで、膀胱炎などの症状はなくなったとのこと。避難するときに水やあじろを持っていたが、避難場所（岡田小学校体育館）に水や食べ物があり、困らなかった。今は水の中から発見された物を肌身離さずいつでも持て逃げられるようにしている。		
感想・備考		

性別：女性	何歳（年代）：50~60代	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 座り仕事で手を動かすため上半身は暖かいが下半身が寒くて冷える。足湯は暖かくて嬉しい。 2月前に韓国に行き、話やフィリピンの旅話や治安、セオリテについて、腰を打た。 お孫さんが転けて、一緒に転んだとき右手の薬指と		

性別：男性	何歳（年代）：60代	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 災害の前は家の周りなど習慣で散歩していたが、仮設に来てからは家の周りとは違う 知らない環境なので散歩をしなくなった。（身体を動かさなくなった）		

性別：男性	何歳（年代）：60代	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 仮設の中にはエアコンが設置されているが、^{1家庭}1つしかないで（寝室には+5人）寒い。 エアコン仕切りがカーテンしかないで下からの風が寒い。^{部屋によっては}		

性別：女性	何歳（年代）：50代	名前・あだ名（わかれば）
お話内容 水害発生時の当時の状況及び自分がとった行動の話を知りました。 当時集合住宅の2階に住んでおり、最初は2階まで水がくるはずがないと思っていたが、近隣の工場で爆発音 が鳴り、怖くなって、自分の母親の家まで心配で見に行きたがりになり、水が来ていると。どかたして戻った が避難準備をしている間もなくして一階がすっかり避難できなくなった。救助を願っていると消防士の方が来て自分は ボートに乗り、消防士の人は泳いでいるのを見て避難の道を指示したとの事。待		

【参加者からの感想 15件（参加者数18名（回収率83%））】

(10代・学生・初参加)



感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	足湯へのおさそいをしに、訪問しましたが、お留守のお宅が 多く、おさそいの難しさを感じました。ですが、沢山の人が集まり、 「なごき、子ども達と楽しく遊ぶ」ことができて良かったです。 写真洗浄では、思い入れのある写真を精一杯きれいにして いただきました。また、写真をきれいにしたいなと思いました。
------------------------------------	--

(20代・学生・初参加)

感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	大学でボランティアサークルに入っていて、外国人や地域の方を 対象とした活動を行うことはありましたが、このように 被災地へ行くのは初めてでした。報道を通して 現状を知るのではなく、実際に行くことで、その日何が 起きたのか、今どのような生活をしているのか、などを身をもって 体験できました。これからも活動の輪が広がり、被災地の方が 今後のボランティアのお誘いや活動情報をメールにお送りしても宜しいでしょうか？ (YES) / NO)
真備町の皆さんへ一言！ 少しでも笑顔になれることを 願っています。	

(20代・学生・初参加)

感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	真備の方々の役に立てれば、と思って参加しました が、逆に私のほうが元気をもらえました。 現地の方も「子供たちの元気な姿を見ると元気になる」とおっしゃっていたので、子供は人類の宝だなと感じ ました。今日はありがとうございました！
------------------------------------	--

(20代・学生・初参加)



感想・アドバイス
(足りなければ裏面も
お使いください)

写真洗浄は地道な作業で大変だが、被災者の手に渡り、少しでも喜んでいてくれたら嬉しく思う。
疑問 ボランティアでは被災者と直接話すことでマスメディアの報道では分からないリアルな声を聞いて、とても有意義だった。

(20代・学生・初参加)



感想・アドバイス
(足りなければ裏面も
お使いください)

私は、去年の7月に真備に災害ボランティアとして足を運ばせていただいたのですが、その時は当時の状況を聴くことができませんでした。今日は、足湯を通してお話を詳しく伺うことができました。1019の言葉が心にも胸に響きました。また、たくさん笑顔を見て反対に元気になりました。本当に参加して良かったです。

(20代・学生)



感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	お互いさまプロジェクトの確めは、現地の人々との継続的かつ ガッツを大切にしているところだと思います。少しずつではあつ ても信頼を築いていける団体でそういった形の支援は 理想的です。今回のボラバスでは、自分自身が集めたおもちゃ が子供達の手に渡る姿を見れたり、プレゼントをいただいたり たり被災者の方々とのつながりを感じられました。
------------------------------------	--

(20代・学生)

感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	午前は思っていたよりも沢山の真備の皆様が足を運んで 下さって広く関わられた気がします。一緒に時間を過ごしてい につれて、お話し下さることや、笑顔を見せて下さることが増えて いき、温かな雰囲気一杯になったと思います。午後から は、エタールを使用し身洗淨を行いました。バクテリアにやられ ている写真が多く、肩や腰に少し負担が掛りました。でも皆でやりこみ 減
今後のボランティアのお誘いや活動情報をメールにお送りしても宜しいでしょうか？ (YES) / NO) しました	

(20代・社会人・初参加)

作業内容	主に子供支援の事で子供達と追いかけていたり、葉はや 枝集めて料理ごこ及びかくれんぼをしました。
感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	子供達のうれしそうな笑顔や楽しそうな姿を見て、逆に私達の方 が元気を頂いてしまいました。今回は主に子供支援の方き 体感させて頂きましたが、次回は子供支援以外の方にも参加 し、また学ばせて頂きたいと思われましたので、また参加させて下さ るのであればよろしくお願いします。また今回の体験を自分の知り合い等に伝 え、拡散していくつもりです。真備町の皆様、大竹さん、和歌山の皆様

(30代・社会人)

感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	慰問 ボランティアは思った以上に盛況で来て下さった皆さん 楽しんで頂いたみたいでした。 写真洗浄というボランティアがあるのを初めて知りました。 いろんな角度からボランティアとして関われるのだな、と 大変学ぶになりました。
------------------------------------	--

(30代・社会人)



感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	どれも初めての作業でしたが、皆さんが積極的に 動いてくださったので、楽しく作業できました。 予想よりもお客さんが多く、スムーズにいかない部分も ありましたが、たくさんお話を聞けて良かったです。 足湯のタオルが一人二枚持参では足りなかったかも……
------------------------------------	---

(20代・社会人)

感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	ボランティアに取り組む上での気をつける事で説明が来た通り、パワーバランス に気が付いたが手遅れな感じがしたので次回に活かそうと思う。
------------------------------------	---

(30代・社会人)

感想・アドバイス (足りなければ裏面も お使いください)	写真の洗浄では、ご家族の方の思い出に触れることができて嬉しく、こんな 形のボランティアもあるんだと初めて気付かされました。とても大事なボランティアだと 感じました。作業に夢中になり終始無言になったのは反省します。すみません。 足湯では、たくさんの方に来ていただきました。その中に以前出逢った子どもがいて 「今日も楽しかったです。」と言ってくれて、またこの子たちのために何かしてあげたい と思いました。皆さん、毎回段取り大変だと思いますが、私に参加したいと改めて思っ ました。
------------------------------------	---

今後のボランティアのお誘いや活動情報をメールにお送りしてもいいでしょうか？ (YES) (NO)